



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

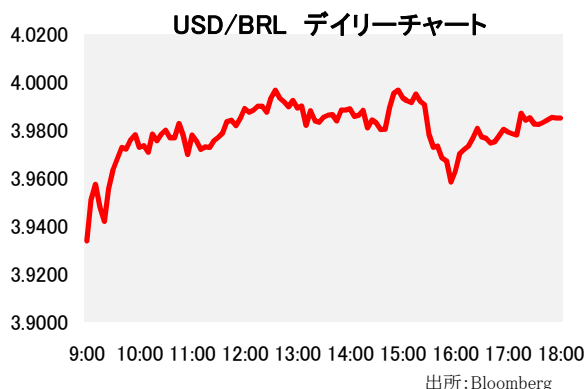
1. マーケット・レート

			9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8620	3.8290	3.8970	3.9450	3.9850	+0.0400
	BRL/JPY	Spot	31.19	31.48	30.78	30.42	30.25	-0.17
	EUR/USD	Spot	1.1267	1.1291	1.1429	1.1302	1.1190	-0.0112
	USD/JPY	Spot	120.43	120.58	120.00	120.00	120.57	+0.57
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.662	14.514	14.534	14.698	14.790	+0.093
	Future	1Year(p.a.)	14.952	15.026	15.115	15.405	15.546	+0.141
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.718	2.651	2.746	3.116	2.944	-0.172
	USD	1Year(p.a.)	3.718	3.646	3.741	4.297	3.989	-0.308
株式	Bovespa指数		47,364	48,553	48,551	47,264	46,590	-674
CDS	CDS Brazil 5y		381.76	373.91	379.31	396.53	427.67	+31.14
商品	CRB指数		196.015	198.976	198.215	194.184	196.846	+2.66

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

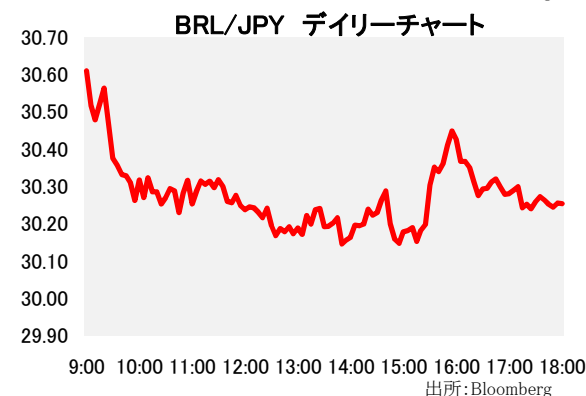
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
経済活動(前月比)	-0.30%	-0.02%	-0.73%
経済活動(前年比)	-4.50%	-4.25%	-1.34%
貿易収支(週次)	--	\$352M	\$888M
(米)中古住宅販売件数	5.50M	5.31M	5.58M
(米)中古住宅販売件数(前月比)	-1.6%	-4.8%	1.8%



3. 要人コメント

ロックハート アトランタ連銀総裁	年内の利上げはまだ有効であると確信する。状況が落ち着けば正常な金利環境を目指す軌道に乗るべく最初の行動を起こす用意が出来るだろう。
---------------------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.9420で寄り付き、直後に本日高値となる3.9330をつけた。その後、政局の混迷を受けて格下げ懸念からレアルは終日軟調推移した。更に、FOMCに参加する数名の地区連銀総裁が年内利上げの正当性について言及すると、ドルが堅調に推移した。レアルは直近安値を更新し、一時3.9980をつけた。この水準では利食い意欲も強く、膠着相場となると、クーニャ下院議長がルセフ大統領に歩み寄る発言をしたことからレアルは3.95台まで反発した。結局3.9850でクローズ。
- 早朝に発表された伯中銀によるアナリスト調査では本年の経済成長率が予想-2.55%から-2.70%へ10週連続で引き下げられ、2016年分も-0.6%から-0.8%へ7週連続で下方修正された。インフレ率予想は本年分が9.28%から9.34%に引き上げられ、2016年は5.64%から5.70%へ7週連続で上方修正された。為替レート予想は2015年末が3.70から3.86へ、2016年末予想が3.80から4.00へと、いずれもレアル安方向に修正された。ブラジルの経済成長とインフレに対する見通しは悲観的な見方が更に増えて来ている。
- 週末に行われたギリシャ総選挙では、チプラス前首相の率いる与党急進左派連合が35.5%の得票率で第一党を維持した。単独では議会の過半数には届かないため、独立ギリシャ人党との連立を継続する見込み。新政権は860億ユーロの支援策と引き換えに合意した歳出削減と増税を実施して行くと思われるが、本日のマーケットの反応は限定的だった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。